

2018 年度第 2 回教育課程編成委員会議事録

(観光科・鉄道科・テーマパーク科・エアライン科・語学集中科・ホテル科・ブライダル科・デュアル科)

日 時	場 所	進 行	言 記 録
2019 年 1 月 8 日(火)	N タワー2F N ホール WEST	足澤他	檜崎他
出 席 者	企業側(10 名) 敬称略・順不同		
	学科	企業名・団体名	名前
	トラベル科(観光科) 鉄道科	(一社)日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会	新井 敏幸
		千葉都市モノレール(株)	山口 晋司
		(株)日本旅行	只隈 修一
	テーマパーク科	(株)東京ドーム	上村 純子
		イオンモールキッズドリーム合同会社	伊藤 弘美
	エアライン科	(株)旅行綜研	石井 光彦
	語学集中科	(株)日本旅行 成田空港事務所	鈴木 繁
	デュアル科	(一財)成田国際空港振興協会	岸本 達也
	ホテル科	(株)オータパブリケーションズ	山下 裕乃
	ブライダル科 デュアル科	(公社)日本ブライダル文化振興協会	飛田 和子
学校側(12 名) 矢口、足澤、湊、澤田、小川、矢野、石神、Wedlock、茂野、立石、北原、檜崎			
議 事 録	<p><b>[全体会]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長挨拶</li> <li>・職業実践専門課程の概要説明</li> <li>・専修学校に関する施策</li> <li>-2019 年度より専門職大学/短期大学が開学。今後増加が予想される。</li> <li>-リカレント教育(人生 100 年時代)</li> <li>-教育プログラムの開発(教育課程編成委員会も含め、society5.0 の超スマート社会等)</li> <li>-地域の連携(高校生の進路決定のミスマッチを減らすためにも、専門学校教育を広める)</li> <li>-教職員資質向上</li> <li>-教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会(PDCA を着実にいき、課題改善に努める)</li> <li>-高等教育の負担軽減(授業料減免・給付型奨学金)</li> <li>-グローバル化(留学生 1 学年定員を 19 年度生より 120 名→160 名へ)</li> </ul> <p>⇒専門的な実践教育を行うには企業の皆様との連携は不可欠であり、当委員会ではその中でも各科の 2 年間の教育内容及び 2020 年オリンピック・パラリンピックの企業取組について各分科会で意見交換を行った後、全体会として挙げた意見の共有をさせていただきたい。</p>		
	<p><b>[分科会] 観光科・鉄道科・デュアル科</b></p> <p>配布資料(2019 年度入学生履修科目・単位一覧、2018 年度年間スケジュール)の概要説明。</p> <p>1. 教育課程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【ニュースディスカッション】(観光科・鉄道科) 委員からのディスカッション能力についての意見を参考として、1年後期・2年前期に導入</li> <li>・【鉄道バリアフリー】(鉄道科)企業連携科目</li> <li>・【中国語】(鉄道科)インバウンド対応</li> <li>・【観光イベントプランニング】(観光科・鉄道科) 1 年前期/プランニング、1 年後期/プランを体験、2 年前期/プランを千葉市に提案する 19 年度は学内でプランに対する審査等実施予定だが、20 年度は企業の皆様にも参加いただきたい。 只隈氏:現在のカリキュラム「旅行企画」で審査に参加したことがあるが、評価だけでなく実際のプランニング中にチェックやレクチャーを行える体制があるとより良い。</li> <li>・【企業実習】(鉄道科) 矢野 :実習は鉄道科の一部の学生のみとなっており、現状は、充分とは言えない。</li> </ul>		

観光科関係の実習は、企業にお支払いをして対応していただく状況もあると聞いており、難しさを感じる。

新井氏:ホテルやブライダルの実習と異なり、やっていただける仕事が少ない。

現状の受入として中学生の社会体験としてスタンプ押し、インターンシップ生として短大・大学生にエクセルの入力等を行っていただいている。

現場の立場からすると学科全員を対象と考えると難しさを感じる。

例えば、企業と契約し業務発生時に数人ずつ体験していただくという形態であれば、実現する可能性はあるように思う。

立石 :実施時期の難しさもある。

1年次の夏休みは国家試験対策で多忙であり、実習先があっても試験対策が優先となる。

2年次とした場合は、内定を頂戴している企業の業種と異なる場合もあり、モチベーションの問題がある。

## 2. 2020 東京オリンピック・パラリンピックへの各企業の取り組み

【(一社)日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会】新井氏

・特になし

【千葉都市モノレール(株)】山口氏

・案内サインを日本語・英語の2か国語から中国語・韓国語も入れた4か国語表示に変更する。

・全体像が確定し19年後半より加速度的にいろいろな物事が決まっていくのではと予測される。

・「懸垂型モノレールとしては 営業距離世界最長(15.2km)」のギネス認定と絡ませた情報発信を行っていきたい。

【(株)日本旅行】只隈氏

・リフト付きバスの需要増加は想定されるが、現状数は少ない。

→発生ベースで対応する人員が必要な可能性が考えられる。

## [分科会] テーマパーク科

配布資料(2019年度入学生履修科目・単位一覧、2018年度年間スケジュール)

### 1・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて 観光業界として各企業の情報共有

茂野 :2020年観光業界として東京オリンピック・パラリンピックへの各企業への取り組み等があれば情報共有頂きたい。

伊藤氏:当社としての本格的な取り組みはまだだが、語学に関してはipad等の機器を活用し、外国人のお客様等の対応をしていきたいと考えている。

上村氏:当社としても担当部署がこれから本格的に対応する予定。

語学に関しては現状では東京都より外国人観光客に向けての翻訳機能のアプリをダウンロードしたipadを配備しているがなかなか浸透をしておらず、各自のスマートフォンで外国人のお客様の対応をしているのが現状。

外国人観光客の満足度向上としては今年度より、夜のイルミネーションを『和』のテイストを意識したものを実施した。

### 2.2018年第1回教育課程編成委員会振り返り

・マナー講師を迎え入れた基本的なビジネスマナーを身に着けた学生の育成。

・自らが考えられる学生の育成を目標にした授業展開。

・テーマパーク業界での研修、文章共通ツールでの共有・スタッフ間でのロールプレイの実施などを企業側より情報共有を頂いた。

・バリアフリー、人事労務管理、テーマパーク運営に関する数字を意識した授業内容の必要性協議

### 3.2019年度 授業 及び行事

#### ① 2年次成果発表

・2年間で習得したサービスや技術を身に着け、集客や告知を学生自らが企画・運営をする。

また『テーマパーク演出』といった授業の中でスマホを使った映像演出等カリキュラムを導入する予定。可能な限り、企業の方にもご覧頂きたい。

- ② 数字管理の授業
  - ・2018年度 第1回にお言葉を頂いた数値管理についてはカリキュラム内の『パークオペレーション』『フードセールス演習』にて導入することとした。
- ③ 企業連携授業・行事の追加
  - ・現状ご協力頂いている カンドゥー研修に関しては非常に満足度が高く、今後も各企業に依頼。2年次『都内業界視察』、『ミュージカル鑑賞(エンターテイメント研修)』等の追加実施予定。
- ④ 地域貢献行事の追加
  - ・学園祭で実施している小学生職業体験行事『キッズ・ハッピープロジェクト』をテーマパーク科の学生が主体となって行う。前は司会進行・取仕切り等をテーマパーク科の学生が実施した。
- ⑤ 企業授業計画の件
  - ・昨年 11 月末に教育課程編成委員会に参画頂いている伊藤様に当校テーマパーク科 1 年生・2 年生の授業見学をして頂いた。ご意見等をお伺いした。

伊藤様:感想としては 1 年生の前期で担当した学生それぞれの成長が感じられた。企業実習において貴校で受け入れた学生がどのように感じたかを企業側にフィードバックしてもらい双方にとってもメリットがある内容にしてもらいたい。

茂野 :2019 年度カリキュラムを参照にした上で今後テーマパーク業界に必要な知識や授業として他にも導入した方がいい内容があればご教授頂きたい。

上村様:東京都障害者差別解消条例が施行され、サービスにおいて必須になることを業界で共有する必要がある社員だけでなく一部アルバイトスタッフにも共有している。アトラクションによっては、危険が伴うなど難しい問題である。障害の内容もお客様によってそれぞれであるが今後考える必要がある。

\* 障害の漢字表記は、「東京都障害者差別解消条例」に準拠

#### [分科会] エアライン科・語学集中科・デュアル科

配布資料(2019 年度入学生履修科目・単位一覧、2018 年度年間スケジュール)

1. 2 年間の教育内容 (授業・行事・実習・成果発表)について

(1) 湊よりエアライン科での企業連携について報告

① 授業

【カーゴコース】

・JAL カーゴサービス、JAL グランドサービス、ANA 成田エアポートサービス、エコーパートナーズ(2019 年 4 月入学生より開始)

【CA コース・サービスコース】

・JAL カーゴサービス

② 企業見学

【3 コース共通】

・JAL スカイ、NCA Japan、ANA 成田エアポートサービス、日本航空、空港保安事業センター、エコーパートナーズ

③ 企業実習

【カーゴコース】

・JAL カーゴサービス、日本空港サービス

(2) Wedlock、湊より語学集中科での企業連携について報告

・2019 年 4 月入学生はトラベル志望の学生が多いため、カリキュラムの変更を行った。

・語学集中科は語学力を身に付けるコースである為、現状企業連携は少ない。今後、語学力以外に観光の知識を身に付けるべく、カリキュラムを変更。

空港の2レター、3レターやホテル業界の知識等も身に付けるカリキュラムにした。

・2 年次「インバウンドツアープランニング」の授業も新しいカリキュラムであり、語学を使いインバウンド対応が出来るスキルを身に付ける。

鈴木氏:空港のインバウンド旅客ハイヤー出迎えでは、タクシー運転手が出迎え以外の要望を聞かずにタクシーへの誘導のみを行っている。Wi-Fi レンタルやその他要望に対して、語学集中科の学生が語学力を生かして対応できるのではと思う。

岸本氏:空港インフォメーション業務では、お客様へのミスインフォはあってはならない為、長期の実習生受け入れは難しい。3、4 日間の中高生向け職場体験は行っており、カウンターで制服を着て決まったアナウンスを行うという内容で受け入れている。

また、空港で実習生を受け入れる時には、社員のアテンドが必要であるが、一般財団法人のため、通常業務とは別で社員アテンドの人件費を出すことが出来る。民間企業では社員アテンドの人件費を出すことが難しいのではと思う。

## 2. 2020 東京オリンピック・パラリンピックへの各企業の取り組みについて

石井氏

- ・企業としての取り組みは行っていない。
- ・大会のボランティアを管理する仕事を行っている。オリンピックに関わる仕事を受託し、得た仕事に対して人材確保を行う。

岸本氏

- ・企業としての取り組みは行っていない。
- ・NAA からの依頼を受け、仕事を行うことになると思う。

鈴木氏

- ・企業としての取り組みは行っていない。
- ・オリンピックに関わる色々な仕事の中で、依頼される仕事に対して対応する。
- ・リムジンバスの会社は、リフト対応に向けて動いていると聞いている。  
以前よりリフト対応のバスが増えて来ている。

## 3. その他

- ・情報収集とプレゼン力強化のため、エアライン科 3 コース共通で 1 年次前期後期、2 年次前期にわたり「時事研究」の授業を行うことにした。

### [分科会] ホテル科・ブライダル科・デュアル科

配布資料(2019 年度入学生履修科目・単位一覧、2018 年度年間スケジュール)

#### 1. 各科教育課程について

##### (1) ホテル科(澤田)

行事・授業・実習・成果発表と様々な場面で企業連携が取れていた。

行事:訪問先ホテルの施設見学、人事担当者からの就職ガイダンス、卒業生による在校生向け訓示等  
授業・成果発表:日比谷バーの現役バーテンダーによる授業、成果発表であるカクテルコンペティションと企業連携が取れた内容となっている。

2019 年度新規科目:男女ヘアメイクを中心とした科目を編成し、セルフメイクを実施することで、就職活動や社会人としての身だしなみに注力する。

##### (2) ブライダル科(足澤)

行事・授業・実習・成果発表と企業連携の取れた内容で実施できた。

行事:ステイマナー研修では浦安ブライトンホテル婚礼部の全面協力のもと、プランナー業務をはじめ音響、照明、ドレス、フラワー、サービスに至るまで現役のスタッフと会場で 2 日間にわたる校外学習を行う連携の取れたものとなっている。

授業:カメラマンによる写真の授業、婚礼司会者による話し方など企業に在籍している現役スタッフを講師陣に迎え授業展開している。

山下氏:ブライダルではスマートフォンを使った WEB マーケティングが主流となっており、スマートフォンを使用して、新規来館促進できるような技術を専門学校で学べたら良いのでは。

九州の専門学校では、都内の衣装フラッグシップ店や高級スーパー、ブライダルのポータルサイト運営会社など、本物を見学する校外授業を行っており参考にしてみてもどうか。

ブライダル事業では、在宅で行うことのできる仕事(席次表や席札の誤字チェック等)が今注目されており、企業によっては導入しているところもある。

## 2. 2020 東京オリンピック・パラリンピックへの各企業の取り組みについて

飛田氏:東京オリパラの準備、来日挙式される外国のお客様に対して何かしてあげようといった取組、また当社の取り組みではないが、都内ホテルでは、従業員化粧室内で誤った日本語の使い方や英語表記を一週間毎に更新しながら従業員向け語学教育を行っていた。

山下氏:訪日外国人の中でも特に富裕層向けにどのようにお過ごしいただくか、どのように日本に興味をお持ちいただくかに注力した情報発信の準備を行っている。成田空港にプライベートジェットで来られたお客様に対する不便の解消・改善についての情報など提供していく予定。

[全体会]

各科分科会において話し合った以下の2点について意見共有を行う。

1. 2年間の教育内容

行事・授業・実習・成果発表の四項目に対して、事前に各科リーダーより企業連携充実度の度合いを評価した一覧表を作成。(充実している◎、連携体制有○、課題有▲の3段階\*連携無は×)  
特に充実度の低い点に関して、委員より意見を頂戴した。

学科	ご意見
観光・鉄道	・実習は作業内容等を考えるとスキル・期間の問題も有り難しい ・授業や行事での連携をより積極的に考えていく
テーマパーク	・新たに障害に関する教育内容を取り入れる ・実習に関して、一層企業へのフィードバックを行う
ホテル・ブライダル	・スマートフォンを利用したマーケティング等の授業の取り入れ
エアライン・語学	・インバウンドのお客様対応等で語学集中科学生との企業連携を模索する

2. 各企業の東京オリンピック・パラリンピックへの取り組み

当校で検討しているオリンピック・パラリンピックへの取り組み(案)を例示した上で、各企業より業界や企業の流れを伺った。

学科	ご意見
観光・鉄道	・現状特段ないが、発生ベースで対応する人員が必要となる可能性がある
テーマパーク	・IT技術を駆使したインバウンド対策を検討する
ホテル・ブライダル	・訪日外国人(特に富裕層)への情報発信 ・企業内におけるすき間時間を有効活用した従業員教育の事例
エアライン・語学	・依頼された仕事に対する人材確保 ・バス等のリフト対応

以上